

住民説明会での主なご意見・ご要望

■ 6月16日（木）【発言者：2名】

- ・ 今日参加の方がもう少し交流館について、話をしていただくと非常に良いと思う。
- ・ 近隣の歴史資料館では、来館者は少ないと聞いており、反省すべき点もあるのだろうが、そこを踏まえてほしい。
- ・ 生涯学習の拠点という考え方は、これから新しいものをつくっていく上で、大切だと感じた。
- ・ 最近、地縁・血縁が希薄になってきている。お祝いの「しきたり」なども非常に少なくなっている。長年、伝えられてきた「しきたり」などでも良いところもたくさんあるが、そういうものを伝える場がほとんどない。交流館で人の一生の儀礼などの企画展をもつと、伝える良い機会になると思う。若いうちから生涯学習の場で考えていく機会になると思う。
- ・ ご紹介いただいた遺跡群の内容は、本当に素晴らしい。東海村として自慢できるものが多いのでびっくりして、感激している。
- ・ 東海村は財政が厳しい。そういう状態だと、ヨーロッパなどでは住民から寄付を募って、必要に応じたものをつくる。これは住民が心からそういったものがほしいという証にもなるし、村の財政にも頼らないでできる。

■ 6月19日（日）【発言者：1名】

- ・ これからの建設計画についてよく理解できた。この施設を拠点として、村全体を博物館と位置づけて、「まるごと博物館」とする構想はダイナミックで村全体の各地域の交流に非常に役立つ近隣では類を見ない構想だと思う。
- ・ それぞれの地域には宝物がある。それを行政だけでは保存するのは難しい。この施設ができた場合、「まるごと博物館」構想を行っていくためには、村民全体の協力がないと難しいし、それが村の文化の活力にもなるし、向上にもつながる。
- ・ よく広報にも載っているが、真崎古墳群での活動のように、各地域の文化団体や文化財団体、自治会に働きかけるなどして、「まるごと博物館」構想を成功させたら、近辺にはないユニークなものになるのではないかと思う。
- ・ 単に施設をつくるだけではなく、「まるごと博物館」構想を進めてもらい、村全体の文化を高めていく大変良い考えだと思う。
- ・ 各地域に文化財保護団体等をつくっていけば、行政的にも、財政的にも良いと思う。